

## フォルミediumの増殖について

フォルミediumという糸状の植物プランクトンが、霞ヶ浦北浦に大量に発生するようになってから5年ほどになります。

このフォルミediumが大量に発生するようになってから、時を同じくするように、かつてのようなアオコの大増殖は全くみられなくなりました。

今回はこのフォルミediumの増殖について、少し述べてみます。

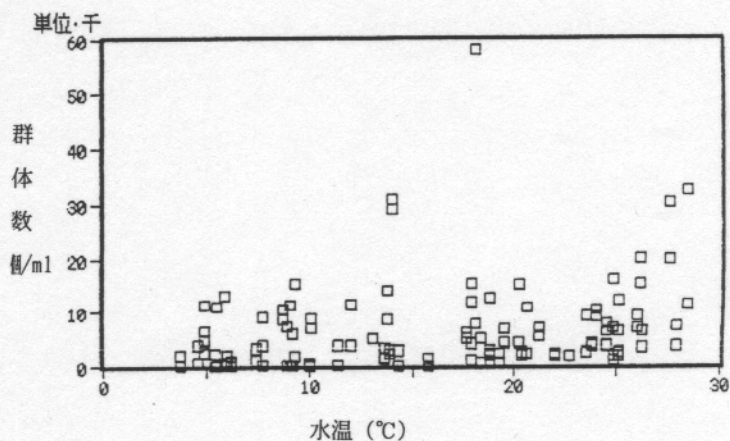
右の図は、霞ヶ浦北浦における昭和63年から平成4年までの、5年間の内水試湖沼観測データを用いて作図したものです。

この図は、フォルミediumの増殖と水温との関係を見たものですが、図の縦軸はこの期間のフォルミediumの月別観測値の中からの最大値を、一方横軸はその時の表面水温を表しています。

これによると、フォルミediumは水温 5~28℃と、大変広い水温範囲で増殖することが分かります。

このようにフォルミediumは、冬期の厳寒期を除けば、ほぼ周年大量増殖が可能であることを示しています。

しかし、周年増殖が可能であるとはいえ、5年間の観測結果からすると、月による一定の傾向がみられるようです。



フォルミediumの増殖と水温

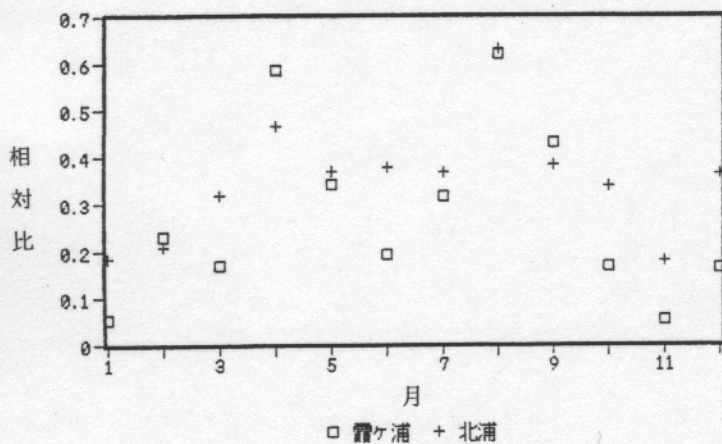
左の図は、同じく霞ヶ浦北浦における、内水試のフォルミediumの観測データから、その年の最大値を示した月の値を1として、それに対する各月の割合を、年別に算出して表示したものです。

なお、図は5年間の平均値として、霞ヶ浦、北浦について別々に示してあります。

これによると、霞ヶ浦北浦のどちらも、同じようなパターンを示していることが分かります。

即ち、年間を通してのフォルミediumの増殖は、1月前後と6月頃に少なくなり、4月と8月頃に大きなピークとなる増殖がみられています。

なぜ、このようなパターンを示すのかは分かりませんが、フォルミediumの増殖については、4月と8月頃は要注意ということになります。



フォルミediumの月別増殖傾向